

令和6年度庄原市特別支援教育支援員・学校司書研修会

＜令和6年4月5日（金） 庄原市総合体育館 会議室＞

【研修の目的】

- 庄原市職員としての服務規律について理解する。
- 特別支援教育支援員は、研修を通して資質の向上を図るとともに、児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階に応じたきめ細やかな指導や必要な支援の充実を図る。
- 学校司書は、学校図書館の活用について研修を行うことにより、資質を向上させ児童生徒の読書活動の充実を図る。

【講話】「服務規律について」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 学事係 管理主事 賀島 直弥

- ◆公務員及び教職員として、法令法規を遵守して勤務することについて、法令に基づき確認した。
- ◆不祥事防止に関わり、事例を挙げて協議を行った。



◇「参加者の振り返り」より

- ・自らも過ちを犯し得る存在であることや当事者であることの意識を改めて確認することができた。
- ・組織の一員としての自覚をもち、節度ある行動をしていきたいと思った。

【講話・協議】「特別支援教育支援員について」（対象：特別支援教育支援員）

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導係 指導主事 片山 博子

- ◆特別支援教育は、障害のある子供一人一人の自立を目指し、障害による困難の克服・改善のために、教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行うものであること等を確認した。
- ◆今後の支援の参考となるよう、日頃の支援において留意していること等について、各校の実践を支援員同士で交流した。



◇「参加者の振り返り」より

- ・どのような時にどのような支援が必要であるか、担任等と児童生徒の実態を把握しながら効果的な支援を行っていきたい。
- ・他の学校の支援員との交流が大変良かった。それらの実践をこれからの支援に役立てたい。

【講話・協議】「学校司書について」（対象：学校司書）

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導係長 小谷 綾子

- ◆学校図書館の機能や、学校司書の法的位置付け、業務等について確認した。
- ◆新年度のスタートにあたり、各校での「図書館ガイダンス」の内容、方法について交流した。

◇「参加者の振り返り」より

- ・学校図書館の向上や改善、生徒の利用を今より良くするために共有できることが多くあり、自校で実践したいと思った。
- ・現在行っている業務を改めて振り返る良い機会となった。「図書館ガイダンス」の交流は大変タイムリーで参考となった。

